

# 文芸 コーナー

今回の児童・生徒のコーナーでは、白浜小のお友達のお作品を紹介いたします。

## 詩・短歌



1 ねん  
すずきのぼる

### かさ

ねえ、先生。  
ぼくのかさは、きいろだよ。  
くるくるまわしたら、  
あめを、ピッピッってはじいて、  
メリーゴーランドみたいだよ。  
こさめるときは、  
パチン、パチンといいおとがするよ。  
ザーザーあめるときも、へいきざ。  
あめなんか、  
ふつとばしちゃうぞつと、  
いってるとよ。



2 年  
椎名 美紀

### ピューンに雪を とかされた

このあいだ、雪がふりました。たくさん  
つもりました。わたしは、こんなに、たく  
さんの雪を、生まれてはじめて、見ました。  
土曜日の夜に、お父さんと、雪だるまを  
作る、やくそくをしました。でも日曜日  
の朝おきてみると、雪がとけていました。  
土曜日の夜、わたしたちがねている間に、  
ピューンがきて、雨のつぶつぶをふらせ  
たらしく、雪がとけてしまいました。  
わたしは、

「せつかくお父さんと、雪だるまを作  
ろうと思ったのに。」  
と思い、がっかりしました。  
また、雪つもるといいなあ。



3 年  
平野公美子

### 白い雪

雪がパラパラふってるよ。  
雪は、  
わたしをねらってふってくる。

つめたい雪が、  
ふりつづく。  
わたしとかばんは、  
まっ白け。  
まわりの道もまっ白け。  
上を見ると、  
空のそのまた上の空で、  
雪をふらしてるよ。



4 年  
秋葉 英樹

### 雲

雲はまるで、生きもののようだ。  
色を変えたり形を変えたりする。

雲は風の手下なのだろうか。  
風がふけば風といっしょに、  
とばされてどこかへ行ってしまう。  
雨は風の手下なのだろうか、  
黒い雲が来ると雨がふる。  
黒い雲が遠くへ行くと雨もやむ。

白雲や黒雲、  
雷雲と台風雲とつなみ雲、  
たつまき雲とじしん雲、  
日本列島にみんなきたら、  
どういふふうになるだろう。  
もしかしたら昼でも夜でもまっ暗になって  
日本が海にしずんでしまうかもしれない。



5 年  
松村有紀子

### お母さんの 長電話

うちのお母さんは長電話  
今日も長電話。  
話し出したらとまらない。  
三十分はぜったい話す。  
私の話などぜんぜん聞いてくれない。  
いつもあとまわし。  
イライラする。

長い話がようやく終わった。  
「やれやれ。」  
また電話をかける。  
五分…。十分…。  
あーあ。また長電話だ。



6 年  
小川 寛興

### 詩ができるまで

四時間目に詩を書くことになった。  
いい案が思いつかない。  
みんながせわしく動きだす。  
風、雪、鳥など思いついても、  
どうやって表現するのか手まどい、